

2007年度 大学院法務研究科
法学既修者認定試験
会 社 法
(問 題)

上場会社であるA株式会社（自動車メーカー）では、ある乗用車のブレーキに欠陥が見つかったが、法令に違反してリコールを行わず、該当する乗用車をひそかに回収して修理を行っていた。このため回収の遅れからブレーキの欠陥を原因とする人身事故が発生し、A社は多額の損害賠償責任を負担したことに加え、リコールを行わなかったことが社会的批判を浴び、A社の株価は大きく下落した。（a）欠陥のある製品を製造したこと、および（b）リコールを行わなかったことについて、A社の取締役がA社およびA社の株主（①以前からの株主で現在も株式を保有する者、②リコール隠しが行われていた期間に株式を取得し現在も保有する者、③以前からの株主でリコール隠し発覚後に下落した価格で株式を売却した元株主に分けて考えよ）に対して負う責任について論じなさい。証券取引法上の責任には触れなくてよい。